

ふるさと講座・歴史系

歴史の道歩くシリーズ1 江戸時代のハツケ！

～野付通行屋・番屋跡遺跡を訪ねる～

道内でも珍しい江戸時代の遺跡を訪ねます。
また、野付半島の春の息吹も感じられることと思います。

- 日 時 平成27年4月18日(土) 午前9時30分～午後1時
- 場 所 野付半島(集合-野付半島ネイチャーセンター2階)
ネイチャーセンターでお話の後、遺跡に移動します。
- ガイド 別海町郷土資料館 石渡 一人
- 定 員 20名
(電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を4月17日(金)までにご連絡ください。)
- その他 長靴を必ず着用下さい。草分け道や海岸を5kmほど歩きます。ウォーキングにも最適です。



1999年頃の野付通行屋跡遺跡



遺跡内に残る墓石

ふるさと講座・自然系第3回目を実施しました。

オオワシ・オジロワシ観察会！

3月22日(日) 走古丹・風蓮湖にて観察会を実施しました。講師は、別海町郷土研究会長渡辺昇さん、参加者は9名です。

郷土資料館で、講師の方よりこの時期風蓮湖周辺で見られる渡り鳥について、説明いただきました。その後、本別海～走古丹と車で移動しながらの観察会となりました。

あいにくの曇空でしたが、お目当てのワシも予想以上に多く観察することが出来ました。春の渡りの時期であるため、タンチョウ・オオハクチョウ・カモ類などもワシ類とともに見れるという欲張りな観察会となりました。

エゾシカの大群は、異様なまでの光景であり、参加者の小学生にカウントしてもらったところ1700頭という驚きの数字となりました。ここまで増えているエゾシカの問題は植物にも大きな影響を与えていることから、動物との共存を考えさせられる一面もありました。



オジロワシ

オオワシ



終戦70年を迎えて、ご協力下さい。!

今年、終戦70年という節目の年を迎えています。戦時中、町内には西春別軍馬補充部や計根別飛行場（本別地区）が設置されるなど、今でもその痕跡が残っています。そうしたこと以外にも戦争の体験などをした方も多かったことと思います。

そうした記録を後世に残すために、みなさんの体験談などお聞きいたしたく思います。お話を聞かせていただける方やこういった資料を持っているなど戦争に係る事柄がありましたら当館までご連絡いただければ幸いです。みなさまのご協力をお願いいたします。

郷土学習出前講座をご活用ください!

当館スタッフが学校(学級レクも可能)や地域の各団体へ出向いて講座を実施します。現在、下記メニューにより、別海町の歴史や自然をわかりやすくお話しします。

家族ぐるみや少人数の場合は(10人程度)、郷土資料館でも実施できます。メニュー以外でも希望がありましたらお電話で問合せください。

1. 昔々のべつかい

先史時代のお話や各種体験活動を通して別海の古代を紹介します。

- ①お話し ②体験活動「土器作り」「勾玉作り」「火おこし」など
- ③遺跡見学

2. 幻の町キラクを探るー野付通行屋跡遺跡の発掘調査から

江戸時代の野付半島の様子を野付通行屋跡遺跡の発掘調査の成果を交え紹介します。

3. 加賀家文書とは?

加賀家文書に関する江戸時代末の別海町の様子を紹介します。

4. べつかい缶詰物語

開拓使により設置された別海缶詰工場に関する歴史を紹介します。

5. 西別川の献上鮭について

寛政12年(1800)から行われた西別川の献上鮭の製造について紹介します。

6. 昆虫採集・標本作り

町内に生息する蝶やトンボを採集し、同定、標本作りを指導します。

7. 化石にふれよう

野付半島沖で発見されたマンモスゾウ臼歯化石のお話と化石のレプリカ作りを指導します。

8. 巣箱づくり

巣箱作りを通して、野鳥に対する理解を深めます。

の利用例



別海町郷土資料館だより No.189

発行日 平成27年4月2日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

何とか新年度を迎えることが出来ました。昨年は発掘調査の1年と言ってもよいくらいそちらに精力を注いでいました。今年度、お知らせした通り、終戦70年の節目の年となります。特別展や講座を通じて戦争についての記録をご紹介しますと思います。(K.I)